



日本共産党
北区議員団

群馬県

再生可能エネルギーのまちづくり 中之条町を視察



9380枚のソーラーパネルが設置された沢渡温泉第1太陽光発電所

日本共産党北区議員団は24日、北区と友好都市交流協定を締結している群馬県中之条町を訪問し、再生可能エネルギーのまちづくりについて調査をおこないました。(のの山けん)

群馬県の北西部に位置する中之条町は人口約1万7千人、山と森林、温泉に恵まれた自治体です。東日本大震災を契機として、2013年6月に町長のイニシアティブで「再生可能エネルギーのまちづくり」を制定し、町ぐるみで取り組むを推進しています。現在、町営・民間あわせて3つの太陽

中之条町の資源を最大限に活用するために、町では太陽光以外に、小水力発電やバイオマス発電にも着手、地域の発展に資する地産地消のエネルギー事業を、さらに推進していこうと努力しています。

光発電（メガソーラ発電）が稼働、町が出資する一般社団法人中之条発電と、株式会社中之条パワーステーションを通じて、公共施設や各家庭に電力が供給されています。視察では、山腹に巨大なソーラーパネルが設置された発電所も見学しました。

再生可能エネルギーのまちづくり

6月に議会の決議を受けてスタート
「再生可能エネルギーのまち中之条」宣言
 中之条町の資源を最大限に活用するために、そして地方自治体としての責任を最大限果たすために

人口17,308人(平成27年4月1日) 面積439km²
 森林率86.9% 農林業、かつては主力産業
 農林業の衰退、里山の荒廃と鳥獣被害
 2011年東日本大震災と原発事故、電力需給のひっ迫

原発に代わるエネルギー、自治体としての責任
 今ある自然環境を有効に活用する
 30年後には町の人口が9,000人を割る予測も
 → 魅力ある地域づくり=再生可能エネルギーのまち

再生可能エネルギー推進条例
 平成25年6月27日制定

説明の中で紹介されたスライド資料より

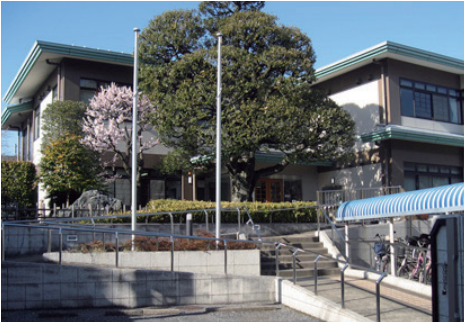


中之条電力の担当者から話を聞く党北区議員団

志茂東 ふれあい館

なでしこ小学校改築・複合化にともない 来年3月閉館

北区主催の「利用者説明会」で多数の要望出される



来年3月で閉館となる志茂東ふれあい館

25日、志茂東ふれあい館で、北区が主催する「志茂東ふれあい館閉館に係る利用者説明会」が開かれました。

冒頭、あいさつに立つた区の地域振興課長は、改築中のなでしこ小学校が来年4月に開校することに伴い、新たなふれあい館を小学校の中に合築し、現在の志茂東ふれあい館は来年3月下旬に閉館すると説明しました。

また、区の担当職員から、閉館に向けて施設利用者との懇談を継続するとともに、9月12日には



ふれあい館が小学校内に移設されると、志茂3・4丁目地域の集会施設が不足することは明らかです。施設の跡地利用を含め、代替集会施設の確保に努めるよう、区に要望しました。

なでしこ小学校開校に向けた住民説明会を開くとの説明がありました。これを受けて参加者からは、「現在の施設の跡地利用はどうなるのか」、「新しいふれあい館は現在と比べ狭くなるのではないか」、「今と同じ条件で新しい施設を使うようにはしてほしい」、「小学校内に移ると、北本通りを渡らなくてはならなくなる。信号を改善するな

ど高齢者に配慮してほしい」など、質問や意見が相次ぎました。私は最後に発言し、①区の公共施設再配置方針との関係で、なぜ閉館せざるを得ないかを丁寧に説明すべき、②近隣に大型マンションも建つことから、3〜5丁目に跡地を含め代替集会施設の確保を、③説明会は夜も含め複数回開催を、と要望しました。(のの山けん)

都営住宅 入居申込相談会

- 8月3日(木)午後6時～8時
- 8月5日(土)午前10時～12時
- 8月6日(日)午後4時～6時

今回の募集は、家族向(ポイント方式)・単身者向・シルバーピアなどです。相談の際は、申込み用紙と収入がわかるもの(源泉徴収票、確定申告書など)をご持参下さい。詳しくは、☎090-2156-3510(のの山)までご連絡下さい。上記の時間以外にも、個別相談に応じます。



※会場はいずれも
のの山けん事務所です。